

ライン導水ブロック-V型 300

施工要領書



1. 標準品の施工手順及び設計・施工上の留意点

施工手順

- ① 床掘りは規定の高さに合わせて不陸が生じない様、また地山を乱さない様に施工してください。不陸修正後は十分に転圧・締め固めを行ってください。
- ② 基礎碎石は規定の厚さに敷き均し、十分に転圧・締め固めを行ってください。
地盤が軟弱な場合や重車両乗入れ部、将来的に車両乗り入れ部が変わる可能性がある箇所につきましては、荷重条件や地盤条件に応じて基礎厚さや基礎コンクリートでの設計を検討してください。
- ③ 基礎上に敷きモルタルを不陸が生じない様に規定の高さ・厚さで敷き均してください。
- ④ 専用吊具によりライン導水ブロック-V型300を設置してください。

①吊り具



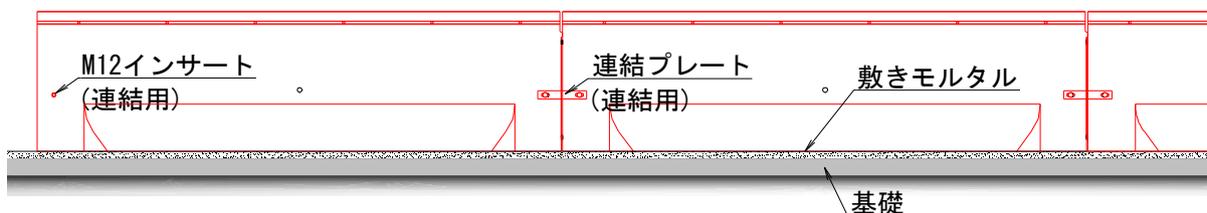
②製品に取付



③吊り状況



- ⑤ 据付の際、微調整の為に製品をたたく必要がある場合は、ゴム製のハンマーを使用するか、あて木をして破損には十分に気をつけてください。



- ⑥ 据付け後、埋戻しを行い、躯体の破損や通り・高さの変動に気をつけ、十分な転圧を行ってください。
埋め戻しの際には、土砂・モルタル・アスファルト乳剤等の付着を防ぐために、スリット部及びポーラスコンクリート部をシート等で養生してください。
- ⑦ 縁石の設置については、「6. ライン導水ブロック-V型300 縁石施工要領」をご覧ください。

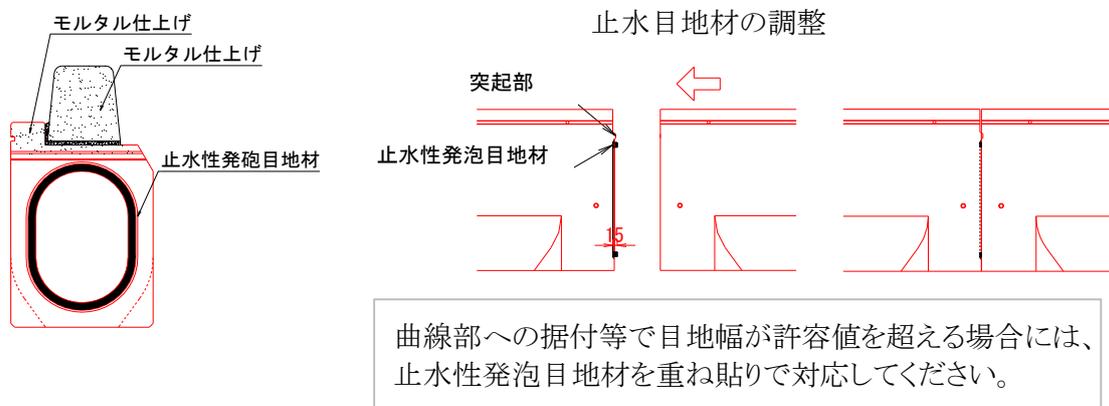
※歩道切下げ部施工上の留意点

- ① 歩道切下げ部には、ライン導水ブロック-F型の歩道切下製品を使用します。
- ② 歩道切下げ部も排水機能をもたせるため、歩道計画上の曲線半径に沿った曲線製品を用い、目地開きを生じさせない様にします。
- ③ 曲線ブロック(現在、R=1.5、2.5、3.5、4.5、6.0、12.0mの6種)と直線ブロックを組み合わせて施工します。
- ④ ライン導水ブロック-V型300を歩道切下げ部に使用する場合、スリット部開口部を狭窄させるスリット金具を使用します。
- ⑤ スリット金具の設置については、「6-2 切下げ部(スリット金具を使用する場合)」をご覧ください。

※製品の目地について

● 止水目地材

製品下部の管路によって雨水を排水するため、管路の周囲に止水性発泡目地材を使用します。目地材は工場にて貼り付けて出荷します。止水目地幅は、製品を突き合わせることで自動的に必要な厚さ(5mm)に調整されます。



● エプロン部および縁石目地

縁石目地はモルタル仕上げを標準としますが、車両乗入れ部等、荷重条件の厳しい箇所については、変位による製品の破損を防止するために発泡目地仕様を推奨いたします。

2. 縁石施工手順

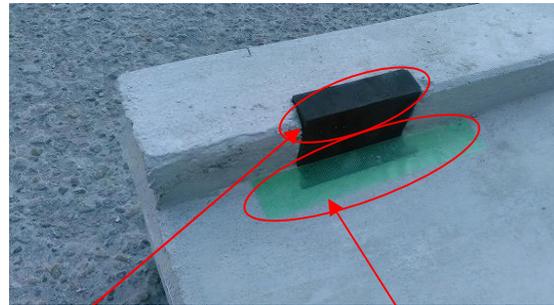
2-1 標準部、乗入れ部（スリット金具を使用しない）

①準備するもの

- ・型枠スポンジ
(100×100×25)
- ・養生テープ
- ・型枠調整具
(先が曲がっている
もの:セパレーター
ガイドが便利)



②スポンジ挿入・養生テープ貼り付け



型枠スポンジ

養生テープ

③モルタル敷き均し・縁石設置



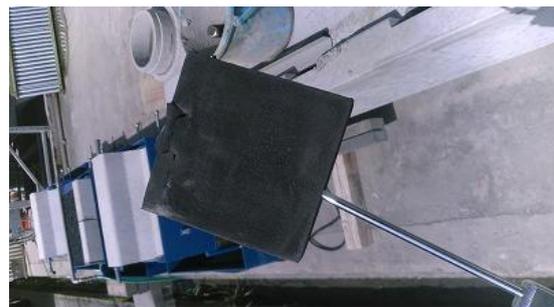
製品天端に空練りモルタルを敷き均し
縁石をエプロン側面に当たるように設置。

④目地モルタル仕上げ



縁石とエプロンの間をモルタルで埋めて
仕上げる。

⑤型枠スポンジ撤去



モルタルが硬化したら、型枠調整具(セパレーターガイド)などで型枠スポンジを引き抜く。

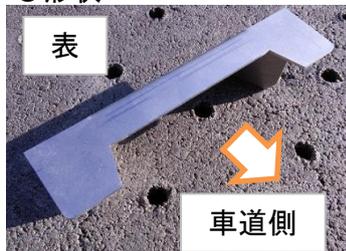
⑥完成



2-2 切下げ部（スリット金具を使用する場合）

スリット金具は歩道切り下げ部など集水スリットを意図的に狭窄させるために使用します。縁石を施工した後、必要な位置に後付けで接着剤を使用して取り付けます。

○形状



○接着剤（一液性弾性接着剤）

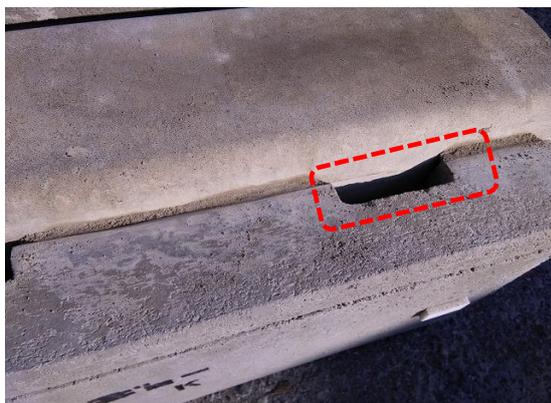


※取付方向にご注意ください。
※金物の角でけがをしないようご注意ください。

※一液性弾性接着剤をご用意ください。
※カートリッジタイプが便利です。
※硬化後弾力が残らないタイプは外れて破損する可能性があるので使用しないでください。

○取付方法

①取付場所を清掃します。



②接着剤を裏側袖部分に塗布します。



③スリットに押し込みます。



④はみ出た接着剤をふき取り完成。

